

昭和 55 年

国勢調査報告

第 1 卷

人口総数

1980 POPULATION CENSUS OF JAPAN

VOLUME 1

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Statistics Bureau, Prime Minister's Office

ま え が き

昭和55年10月1日を期して行われた昭和55年国勢調査は、国民各位の多大の御協力を得て無事終了し、現在までに、その主要な結果を各種の報告書によって刊行したほか、更に、詳細な結果を鋭意取りまとめ中である。

国勢調査は、大正9年に第1回の調査が行われて以来、10年ごとに大規模な調査が、また、その中間の5年目には簡易な方法による調査が、半世紀以上にわたりほぼ定期的実施されており、今回の国勢調査は第13回目で、10年ごとの大規模な調査に当たっている。さらに、今回の国勢調査は、国際連合が提唱する1980年世界人口・住宅センサス計画の一環をなすものである。

国勢調査は、いうまでもなく、全国、都道府県のみならず、各市区町村の人口の状況を明らかにし、社会福祉、雇用、住宅、環境整備、交通など各種行政上の諸施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを主たる目的として、全国民について行われるものである。近年の我が国の人口の構造変化、特に年齢構造の高齢化は、今後の日本の経済・社会に重大な問題を投げかけており、また、人口の地域分布、就業構造、世帯構成も、経済が安定成長期に入ったことにより、高度経済成長期における急激な変化とは異なった動向を示している。国勢調査は、これらの現状分析と予測、諸施策の効果的な企画・立案のため欠くことのできない資料を提供するとともに、産業、学术研究などの各分野においても広く利用されるものである。

このため、今回の国勢調査では、全国で約70万人の国勢調査員が調査の実施に当たるとともに、最新の集計方法を採用して、これらの結果を早期に集計し公表することとした。

本書は、「昭和55年国勢調査報告 第1巻」として、昭和55年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県、市区町村及び人口集中地区の人口、面積に関する統計表を従前の結果と併せて収録したものである。人口の各調査事項別結果は、全数集計又は抽出集計の方法により、現在集計が進行中であり、「昭和55年国勢調査報告 第2巻～第7巻」、「同 別巻」、「同 確定数」、「同 最終報告書」として、集計完了の都度、刊行することとしており、既に「第2巻 基本集計結果(Ⅰ) その1 全国編、その2 都道府県・市区町村編(48分冊)」、「第5巻 従業地・通学地集計結果 その1 従業地・通学地による人口一男女・年齢・産業(大分類)」及び「確定数 全国都道府県市区町村別人口及び世帯数」は刊行済みである。

本書の刊行を機会に、今回の国勢調査の企画・実施に当たり、一方ならぬ御協力をいただいた方々に心から感謝の意を表する次第である。

昭和 57 年 8 月

総理府統計局長 永 山 貞 則